

パブリックコメントによる意見を踏まえた修正箇所について

	修正前	修正後	修正理由
P31	<p>岩見沢市の公園は、これまで地域住民の憩いや環境保全の拠点として整備が進められていましたが、近年は人口減少や少子高齢化の進展とともに利用者の減少が顕著となっていることに加えて、老朽化施設の更新や維持管理費の増大等により、すべての公園を同一水準で維持していくことが困難となっています。</p> <p>一方、公園はレクリエーションや健康増進、防災機能、コミュニティの形成等、生活に不可欠な多岐にわたる役割を持ち、市民の心身の健康や都市の安全を支える重要なインフラであることから、公園機能の集約・再編や地域との協働による維持管理を進め、将来にわたって地域住民の憩いの場となる空間の確保を図ります。</p>	<p>岩見沢市の公園は、これまで地域住民の憩いや環境保全の拠点として整備が進められていましたが、近年は人口減少や少子高齢化の進展とともに利用者の減少が顕著となっていることに加えて、老朽化施設の更新や維持管理費の増大等により、すべての公園を同一水準で維持していくことが困難となっています。</p> <p>一方、公園はレクリエーションや健康増進、防災機能、コミュニティの形成等、生活に不可欠な多岐にわたる役割を持ち、市民の心身の健康や都市の安全を支える重要なインフラであることから、公園機能の集約・再編や地域との協働による維持管理を進め、将来にわたって地域住民の憩いの場となる空間の確保を図ります。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
P32	<p>岩見沢市の街路樹は、道路利用者の快適性向上や視線誘導等の多様な機能を果たすため市内の各路線にて整備が進められていましたが、植栽から長い年月を経て、巨木化・老木化・樹勢の衰退等が進み、倒木や枝折れ等のリスクの増大、道路施設の損傷といった安全面の課題が顕著となっていることに加え、維持管理コストの増大、道路照明や標識への支障等が課題となっています。</p> <p>街路樹は道路利用者の快適性向上のほか、良好な都市景観を形成し、まちに彩を加える重要な要素であることから、定期的な点検・調査や適切な撤去・置換え等を進め、将来にわたって安全な道路交通環境や快適な生活空間、街並みに彩をもたらす良好な景観の保全に取り組みます。</p>	<p>岩見沢市の街路樹は、道路利用者の快適性向上や視線誘導等の多様な機能を果たすため市内の各路線にて整備が進められていましたが、植栽から長い年月を経て、巨木化・老木化・樹勢の衰退等が進み、倒木や枝折れ等のリスクの増大、道路施設の損傷といった安全面の課題が顕著となっていることに加え、維持管理コストの増大、道路照明や標識への支障等が課題となっています。</p> <p>街路樹は道路利用者の快適性向上のほか、良好な都市景観を形成し、まちに彩を加える重要な要素魅力ある都市空間の形成に欠かせない財産であることから、定期的な点検・調査や適切な撤去・置換え等を進め、将来にわたって安全な道路交通環境や快適な生活空間、街並みに彩をもたらす良好なと彩り豊かな景観の保全に取り組みますを図ります。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
P33	<p>岩見沢市には、森林、農地、河川など多様な自然環境が広がり、地域特有の動植物が生息し、気象の緩和や水源涵養等、市民の生活を支える生物多様性の基盤になっていますが、近年の気候変動や土地利用の変化等により、生息環境の分断や縮小、外来種の侵入や拡散による生態系への影響が進行しており、地域特有の自然環境の維持が課題となっています。</p> <p>在来種の根絶や生態系のバランスの崩壊を引き起こす要因となる特定外来生物の拡大を防止するため、自然環境の保全や適切な維持管理による野生生物との共生に取り組みます。</p>	<p>岩見沢市には、市内に広がる森林、農地、河川などといった多様な自然環境が広がりは、地域特有の動植物が生息する地であるとともに、気象の緩和や水源涵養等、市民の生活を支える生物多様性の基盤になっていますが、しかし、近年の気候変動や土地利用の変化等によりは、生息環境の分断や縮小、外来種の侵入や拡散によるを招いています。こうした生態系への影響が進行しておける中、地域特有の自然環境の維持が課題となっています。</p> <p>在来種の根絶や生態系のバランスの崩壊を引き起こす要因となる特定外来生物の拡大、野生生物の市街地侵入を防止するため、自然環境の保全や適切な維持管理による野生生物との共生に取り組みます地域生態系の保全と健全化を図ります。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
P34	<p>近年の気候変動により、集中豪雨や線状降水帯の発生が頻発し、全国各地で中小河川や農地周辺での氾濫や土砂災害による被害が増加し、従来の河川改修だけでは、想定を超える雨量に対応しきれない場面も増え、流域全体での治水対策が求められており、本市では、過去の洪水被害から、流域全体での水を「貯める・遅らせる・流す」機能の強化が課題となっています。</p> <p>本市から各管理者への河川整備や排水機能の向上に対する要望の継続に加え、洪水被害を軽減する有効な手法の一つで、農地が一時的に雨水を貯留し下流への流出を遅らせる「田んぼダム」の取組への支援を継続し、流域全体での治水対策を推進します。</p>	<p>近年の気候変動に伴い、集中豪雨や線状降水帯の発生が頻発しており、全国各地で中小河川や農地周辺での氾濫や土砂災害による等の被害が増加しています。従来のこれまで想定していた雨量に対する河川改修だけのみでは、想定を超える雨量に対応しきれない場面も増え治水能力に限界が生じていることから、流域全体での治水対策が強く求められておける、います。</p> <p>本市ではにおいても、過去の洪水被害からを踏まえ、流域全体での水を「貯める・遅らせる・流す」機能をいかに強化するかが課題となっています。</p> <p>本市から各管理者への河川整備や排水機能の向上に対する要望の継続に加え、洪水被害を軽減する有効な手法の一つで市内を流れる河川や排水路の機能向上とともに、農地が一時的に雨水を貯留し下流への流出を遅らせる「田んぼダム」の取組への支援を継続し等を通じて、流域全体での治水対策を推進します。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
	<p>河川改修や遊水地、田んぼダムによる総合的な流域治水を推進します。また、地域における出前講座等を活用して洪水浸水リスクの共有と、分かりやすい情報を発信します。</p>	<p>河川改修や遊水地建設、田んぼダムの拡大による総合的な流域治水を推進します。また、地域における出前講座等を活用して洪水浸水リスクの共有と、分かりやすい情報を発信します。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「基本的な考え方」の表現を修正

パブリックコメントによる意見を踏まえた修正箇所について

	修正前	修正後	修正理由
P35	<p>岩見沢市は、道内有数の食料供給地域として多彩な農業が展開されており、農地は基幹産業を象徴する田園景観を形成する地域の重要な資源ですが、近年は農業者の高齢化や担い手不足が顕著であり、耕作放棄地の発生や農地の分断化の進行による持続的な農業経営の維持が課題となっています。</p> <p>一方、農業は国民の食を支え、美しい田園景観を形成する要素のほか、生態系の維持や防災など地域を守る機能も兼ね備える本市に無くてはならない重要な資源であることから、耕作放棄地や未利用農地の削減による農地の保全や適切な維持管理を促進し、将来にわたって市民が誇れる田園景観の維持を図ります。</p>	<p>岩見沢市は、道内有数の食料供給地域として多彩な農業が展開されており、農地は基幹産業を象徴する田園景観を形成する地域の重要な資源ですが、近年は農業者の高齢化や担い手不足が顕著であり、耕作放棄地の発生や農地の分断化の進行による持続的な農業経営の維持が課題となっています。</p> <p>一方、農業は国民の食を支え、農地は美しい田園景観を形成提供する要素のほか役割を担っており、生態系の維持や防災など地域を守る等の機能も兼ね備える本市に無くてはならない重要な資源であることから、耕作放棄地や未利用農地の削減による農地の保全や適切な維持管理を促進し、将来にわたって市民が誇れる田園景観の維持農地の保全を図ります。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
P37	<p>岩見沢市の森林は、自然環境とのふれあいの場となる森林公園や木材生産のための人工樹林、水稲畑作地帯の耕地防風林等、様々な機能を有し、水源涵養や土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収、木材の生産機能等の多面的な公益的機能により、市民生活や地域環境を支える重要な自然資源となっています。</p> <p>一方、森林のカラマツやトドマツは約8割が高齢級となっており、計画的な皆伐再造林や積極的な利用間伐の必要性が増しているとともに、こうした作業に携わる担い手の高齢化も課題となっていることから、資源と担い手の若返りに取り組めます。</p> <p>また、地球温暖化防止を図り、本市が提唱する「ゼロカーボンシティ岩見沢」を実現するため、市内で生産した木材を市内の各所で消費する地材地消や公園・街路樹等の落ち葉の堆肥化等による緑の循環等、“地域の緑でつなぐゼロカーボン社会”へ向けて取り組めます。</p>	<p>岩見沢市の森林は、自然環境とのふれあいの場となる森林公園や木材生産のための人工樹林、水稲畑作地帯の耕地防風林等など多様な姿で広がり、様々な機能を有し、水源涵養や土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収、災害防止、木材の生産機能等の多面的な公益的機能によりを通じて、市民生活や地域環境を支える重要な自然資源となつ社会的共通資本としての役割を果たしています。</p> <p>一方、森林のカラマツやトドマツは約8割が高齢級となっており、計画的な皆伐再造林や積極的な利用間伐の必要性が増しているとともに、こうした作業に携わる担い手の高齢化も課題となつて進んでいることから、資源と担い手の若返りに取り組めます様々な視点による緑の循環を推進します。</p> <p>また、地球温暖化防止を図り、本市が提唱する「ゼロカーボンシティ岩見沢」を実現するため、市内で生産した木材を市内の各所で消費する地材地消や公園・街路樹等の落ち葉の堆肥化等による緑の循環等、“地域の緑でつなぐゼロカーボン社会”へ向けて取り組めます。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
	<p>森林資源の状況、自然条件および社会的要請を総合的に勘案し、国土や生態系の保全、木材や食料の生産機能等、森林が有する多面的な機能が将来にわたって発揮できるよう、適切な森林施業と担い手育成に向けた取組を進めます。</p> <p>また、「ゼロカーボンシティ岩見沢」を進めるため、地場木材の活用と緑の循環を推進します。</p>	<p>森林資源の状況、自然条件および社会的要請を総合的に勘案し、国土や生態系の保全、木材や食料の生産機能等、森林が有する多面的な機能が将来にわたって発揮できるよう、適切な森林施業と担い手育成に向けた取組を進めます。</p> <p>また、緑の循環により、木材産業の活性化や地域の緑でつなぐ「ゼロカーボンシティ岩見沢」を進めるため、地場木材の活用と緑の循環を推進しますの実現を図ります。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「基本的な考え方」の表現を修正
P38	<p>岩見沢市では、市民団体や地域住民による花壇の管理、河川敷の清掃活動等、多様な緑化ボランティア活動が展開されており、本市の緑の保全に欠かせない取組となっています。とくに市の花であるバラの育成・管理活動を担う団体は地域の誇りであり、バラを活かしたまちづくりに貢献しています。</p> <p>一方で、少子高齢化に伴う担い手不足により活動の継続・技術継承等が課題となっていることから、バラを育てる活動を支援し、市民の美化意識向上だけでなく、地域の教育・観光・交流にもつながる、人と緑が共に育つ地域社会の形成に取り組めます。</p>	<p>岩見沢市では、市民団体や地域住民による花壇の管理、河川敷の清掃活動等、多様な緑化ボランティア活動が展開されており、本市の緑の保全に欠かせない取組となっています。とくに市の花であるバラの育成・管理活動を担う団体は地域の誇りであり、バラを活かしたまちづくりに貢献しています。</p> <p>一方で、少子高齢化に伴う担い手不足により活動の継続・技術継承等が課題となっていることから、バラを育てるボランティア活動を支援して通じて、市民の美化意識向上だけでなく、地域の教育・観光・交流にもつながる、人と緑が共に育つ地域社会の形成に取り組めます。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
P42	<p>人口減少や経済情勢の低迷等に伴い、市内で空き地や遊休地の増加が進んでいます。これらの土地が適切に管理されない場合、雑草や不法投棄の発生、景観の悪化、防犯・防災面からの懸念等、地域の環境悪化が危惧されます。</p> <p>一方、こうした空間は創意工夫によって、花壇や農園、広場等、地域のニーズに応じた新たな空間づくりにもつながることから、適正な管理と活用および増加防止対策に取り組めます。</p>	<p>人口減少や経済情勢の低迷等に伴い、市内で空き地や遊休地の増加が進んでいます。これらの土地が適切に管理されない場合、雑草や不法投棄の発生、景観の悪化、防犯・防災面からの懸念等、地域の環境悪化が危惧されます。</p> <p>一方、こうした空間は創意工夫によって、花壇や農園、広場等、地域のニーズに応じた新たな空間づくりにもつながることから、適正な管理と活用および増加防止対策に取り組めます。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「目的」の表現を修正
	<p>景観・環境・安全の維持を基本に、継続的な土地利用に向け、空き地や遊休地を、“地域の課題”から“地域の資源”へ転換し、適正管理と有効活用の両立を図ります。</p>	<p>景観・環境・安全の維持を基本に、継続的な土地利用に向け、空き地や遊休地を、“地域の課題”から“地域の資源”へ転換し、適正管理と有効活用の両立をと増加防止を図ります。</p>	「目的」と「基本的な考え方」の役割の違いが明確になるよう、「基本的な考え方」の表現を修正

※パブリックコメント以外にも、誤字脱字等の軽微な修正や、計画の方向性（内容）に影響を及ぼさない範囲で、調整・修正を行っております。ご了承ください。